

4 ご協力いただきたいこと

このプロジェクトは、行政だけでは実現できません。より安全で安心な避難所を「みんなで」つくるため、ご賛同いただける方の以下のようなご協力を心よりお待ちしております。

• GCF、寄附、企業版ふるさと納税

プロジェクトの資金は避難所改善の取組（トイレカー導入）に充当されます。GCF「みんなできずく安心避難所」プロジェクトの他、小野市行政サイト「災害に強いまちづくりへのご支援を！」では、寄付（一般寄附や企業版ふるさと納税）を受け付けています。

※GCF、一般寄附：防災グループ（0794-63-3387）

※企業版ふるさと納税：企画政策グループ（0794-63-1404）

• 情報共有

このプロジェクトの意義を多くの方に知っていただくため、情報拡散にご協力ください。

• アイデアや協力の提案

民間施設を活用した避難所設置や、災害時における協定締結など、行政や民間が連携してできることは他にもあります。トイレカーの導入以外にも、避難所環境改善に向けたアイデアやご協力の提案があれば、ぜひお声がけください。

※お問い合わせ：小野市 市民安全部防災グループ
TEL 0794-63-3387
Fax 0794-63-1093
Mail bosai@city.ono.hyogo.jp

「みんなできずく安心避難所」プロジェクト

— ガバメントクラウドファンディング（GCF）のご案内 —

プロジェクトの概要

小野市では、ふるさと納税を活用した市が行うクラウドファンディング（GCF）「みんなできずく安心避難所」プロジェクトは、行政だけでは対応しきれない避難所環境の課題にみんなで関心（気付き）をもって、市民や民間企業など社会全体で協力して構築（築く）を目指す取組に挑戦します。山崎断層帯地震で大規模な避難者の発生が想定される小野市にとって、トイレカーの導入契機が、避難生活の質が大きく変わる重要な一歩になると考えています。



ご関心を持たれた方へ

プロジェクトの背景、目的、期待される効果を次頁にまとめましたのでご覧ください。

1 プロジェクトの背景

・大規模災害の想定と避難所の課題

山崎断層帯地震の発生時には、最大2万9千人、**全市民の半数以上が避難者**となることが想定されています。しかし、現状の避難所態勢では、これだけの避難者を収容し、適切な環境を提供することは困難です。

・劣悪な避難所環境が招くリスク

避難所の環境が不十分な場合、避難者の心身に大きな負担がかかり、**体調悪化や災害関連死につながるリスク**が高まります。特に避難所生活において、プライバシーの確保や衛生環境の質を高めることは重要な課題です。

・資金と体制の限界

避難所環境の改善には多額の資金が必要ですが、末端行政のみで全てを賄うことは困難です。また、行政だけでは災害時の全てに対応できず、**公助には限界**があります。

2 プロジェクトの目的と意義

・避難所環境の根本的な改善

避難生活の質を向上させ、避難者の心身の負担を軽減することを目指します。トイレカー導入はそのための取組の一つです。

・官民連携による「みんなできずく安心避難所」

行政だけでなく、市民、民間企業など、地域社会全体で協力して避難所づくりを進めることで、より強靱で柔軟な防災体制を構築します。

・広域的な災害支援体制への貢献

小野市だけでなく、全国の被災地へ移動式トイレが集結できる環境を構築することで、他の被災自治体への支援にも貢献します。

3 導入するトイレカーの効果

・衛生環境の向上

避難所での劣悪なトイレ環境は、感染症のリスクを高めます。清潔なトイレカーを導入することで、衛生環境の質を高め、健康被害を防ぎます。

・プライバシーの確保

多くの避難者が集まる場所では、トイレはプライバシーが保ちにくい場所の一つです。個室のあるトイレカーは、避難者が安心して利用できる環境を提供します。

・精神的負担の軽減

災害ストレスに加えて、トイレ環境の不備は大きな精神的負担となります。清潔でプライバシーの保たれたトイレは、避難者のストレス軽減に貢献します。

・啓発のシンボル

災害発生時に、まずは自分自身の安全を守るため、一人一人が災害への備えをする（自助）。水や食料と同様、トイレ対策についても考えていただく啓発のシンボルとして活躍します。

■ガバメントクラウドファンディング（GCF）
「みんなできずく安心避難所」プロジェクト
※サイトへは右記QRコードからお願いします。



■小野市ホームページ
「災害に強いまちづくりへのご支援を！」
※サイトへは右記QRコードからお願いします。

